



議会だより

No.202
令和6年10月31日
発行



宮城県
大衡村議会

おおひら



P2 令和5年度決算認定
P4 決算審査特別委員会
P12 一般質問

世代を超えて語り合う
(トークフォークダンス)

食センター 完了 (合計8億4,500万円)



今日もおいしい給食を届けます



大好きなカレーだ！

令和6年第3回定例会は、9月3日から13日までの11日間にわたり開かれた。
村長提出案件は、教育長の任命についての同意1件、条例改

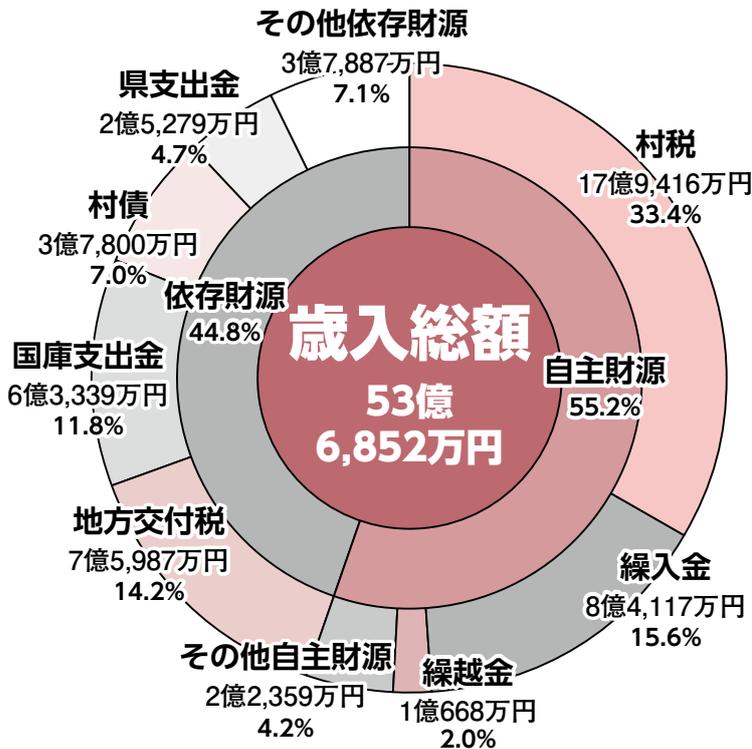
正1件、財産の減額貸付1件、令和6年度補正予算5件、報告3件、令和5年度各種会計決算認定7件の全18議案が提出され、全て原案可決された。

会計別		歳入決算額	歳出決算額
特別会計	国民健康保険事業	6億129万円	5億5,327万円
	下水道事業	2億2,733万円	2億2,332万円
	介護保険事業	6億7,601万円	6億5,530万円
	戸別合併処理浄化槽	4,555万円	4,106万円
	後期高齢者医療	6,649万円	6,518万円
水道事業	収益的収支	2億6,219万円	2億3,057万円
	資本的収支	3,402万円	7,180万円

各種会計決算

令和5年度
全会計
決算認定

2年間にわたる給 整備事業が

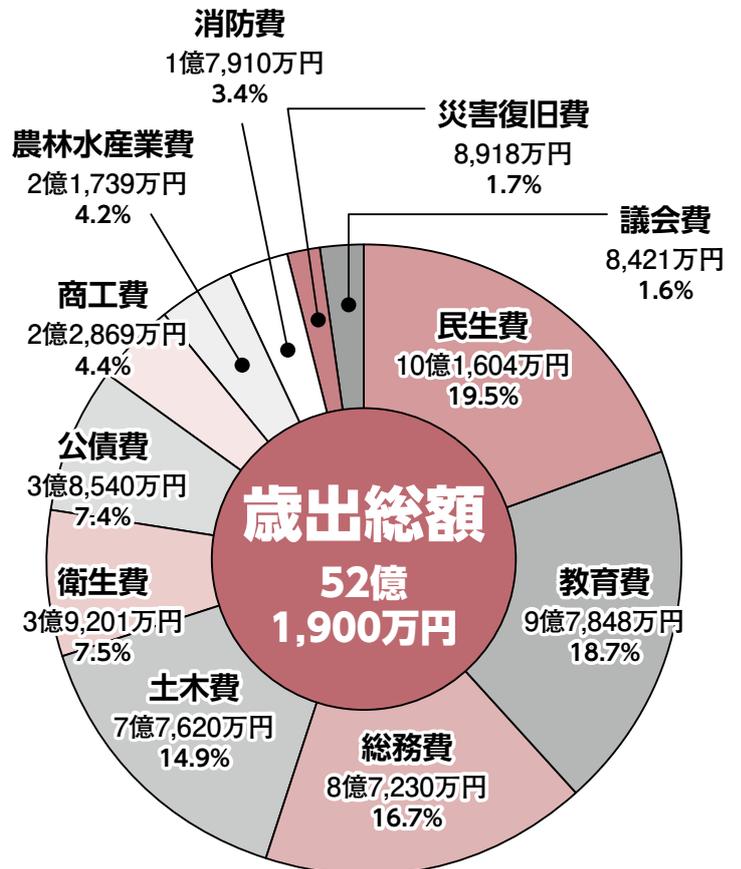


◆ 一般会計決算の概要 ◆
令和5年度の主な内容は次のとおり

- ① 学校給食センター整備 ……5億6,958万円
- ② 物価高騰対策給付金 ……8,689万円
- ③ 企業立地促進奨励金 ……7,063万円
- ④ クリエイトパークキャンプ場整備 ……3,607万円
- ⑤ 子育て医療費助成 ……3,308万円
- ⑥ デマンド型交通 ……1,230万円
- ⑦ コロナワクチン接種事業 ……1,205万円

◆ 監査委員審査意見 ◆

- ① 決算不用額
各種会計合計で2億を超える不用額が発生しており、予算の効率的な執行上好ましくない。補正措置等の適正な予算管理に努められたい。
- ② 予算流用・予備費
毎年度決算において予備費充用が多く見受けられる。予備費は予測しがたい緊急の支出が生じた場合に可とされているので、最小限にとどめるべきである。
- ③ 補助金交付
補助金交付事務において交付手続きの遅れた事案が多く見受けられた。適切な交付手続きに努められたい。
- ④ 公共施設老朽化対策
使用を休止している施設の今後の在り方について、早急に検討し方向付けをすべきである。



使われたか

令和5年度各種会計決算審査のため、決算審査特別委員会（委員長文屋裕男）が6日間にわたり開かれた。

特別委員会では担当課長などに質疑を行い、審議した結果「認定すべき」と決定し、9月13日の本会議で議長に報告した。



文屋裕男委員長

主 な 質 疑

大 衡 塾

問 運営にかかる見積徴収が1者である。質の高い指導をするため様々な業者を選定するべきではないか。

答 東北で塾を67校運営している業者である。信頼できる業者であり、今回1者での随意契約となった。

問 現在は夏休み中の開催だが、さらに学力向上を目指すため通年型も考えてはどうか。

答 参加者のアンケート調査から集中型が良いという結果になっている。

敬 老 会

問 村全体の敬老会が令和2年から中止しているが、敬老事業は今後どのように進めていくのか。

答 6年度も村全体の敬老会は開催しないことにしている。今後も記念品や祝金の配布は継続していく。

問 敬老者の方々が顔を合わせる機会がなくなっている。皆さんが集まる機会を考えるべきではないか。

答 地域内のつながりも大事であると考えている。地区での取り組みに村としても協力していきたい。



多くの方が参加した敬老会（令和元年度）

決算 質疑

村のお金は どう

社会体育事業

問 コロナの影響で村民体育大会が令和元年から中止になっているが、村民が一堂に会する体育大会は実施されていない。新しい社会体育事業を考えていくべきではないか。

答 5年度から村民スポーツ交流大会を開催している。多くの人が参加できるような種目や、親睦を図れる大会にしていきたい。

デマンド型交通

問 デマンド型交通の利用年齢は18歳以上となっているが、置き去り防止装置が設置されているのはなぜか。

答 地域交通システムはデマンド型交通と通園バスとして利用することから設置している。



元気にスタートする村民スポーツ交流大会(令和6年)

住宅管理

問 公営住宅等長寿命化計画策定業務に462万円使われているが、この計画策定は、毎年行われるものか。また、入居者から意向調査を行っているか。

答 公営住宅を長期にわたって安定的な確保と予防保全の観点から入居者の意向調査を行い、おおむね10年に1回計画を策定している。



長寿命化を図っている五反田北住宅2号棟

問 入居者一部からカビ臭いなど話があり、しっかりした入居者の意向を確認し、計画策定は行われているか。

答 入居者からの不具合等があった場合は修繕し、公営住宅の適切な管理をするため計画を策定した。

村道の植栽管理

問 村道17路線の植栽等管理費2千7百万円の業務内容は。

毎年2百万円ほど増えているがその要因は。

答 金額が多いのは、工業団地内の奥田大森線の街路樹クロマツの剪定作業である。

人件費の高騰、肥料代の値上がり、作業量が増えているためである。

教育委員報酬

問 委員報酬が年額15万円と他の委員と比べても著しく低いと思うが、いつからこの報酬なのか。他市町の報酬はいくらなのか。

答 条例により年額15万円と定められている。時期は平成9年から。また、他市町と比べても一番下だと思う。

随意契約

問 随意契約請書の決裁で、村からの発注書がないのに請書だけで契約成立しているが、通常ではあり得ないと思われるが。

答 ご指摘のとおりで、適正なあり方について確認して改めていく。

公園遊具点検

問 公園遊具点検結果と、その後の対応は。

答 点検基準が変わり、使用不可になった遊具もある。工事には時間がかかるため、安全上支障がないものは開放している。

企業立地促進奨励金

問 奨励金のこれまでの支払い総額と今後の交付額は。今後も奨励金は継続する考えなのか。

答 これまで約16億円を交付している。今後の交付額は1億2千万円となっている。村の誘致活動や企業にとっても魅力ある奨励金であり、継続していきたい。

農業振興

問 農業振興予算総額が約1億円であるが、農政の変化や様々な情勢に対応できる農業振興に努めることが重要ではないか。

答 農業関係補助金については農業政策の状況等を見ながら、今後も見直し対応していきたい。

問 農地の多面的機能支払交付金で国への返還金が生じている理由は何か。

答 地区の農地面積に応じて交付金が支払われているが、見合う農地維持管理作業が実施できないため返還金が生じている。村としても返還が生じないよう指導していきたい。



点検された公園遊具(ときわ台南)

災害備蓄品

問 長期保存可能な備蓄食品だが、入れ替えをどのように行なっているのか。

答 備蓄食品は、防災訓練や防災教室実施の際参加者に配ったり試食してもらい、5年毎に入れ替えをしている。

問 避難所用品も最新のものを備えるようにすべきではないか。

答 間仕切りやベッドなどは、プライバシーに配慮されているものや、より改良されたものがでてきているので、適切な時期に入れ替えていく。

河川管理

問 村管理河川で土砂浚渫しゅんせつが必要な河川はどこか。

答 土砂浚渫の対象河川は椋田川、駒場川、大森川であり、5年度は椋田川を実施した。他の河川は6年度に実施する予定。

問 河川愛護作業の状況はどう変わっているか。

答 6年度から地区への委託方式に変更になった。河川の土砂浚渫も継続的に進め、県管理河川も引き続き要望していきたい。

障害者施設への村有地貸付

問 「わ・は・わ大衡」への施設利用貸付地が半分しか利用されていないが、その実態は。

答 利用していない部分は、グループホームやハーブ園として利用する計画であるが、返還を含めて協議している。

給食センター

問 食材が値上がりしている状況下で現在の給食単価で賄えるのか。

答 5年度決算では食材費は小学校が295円、中学校が352円であり、定める給食単価より多くかかっている。給食単価の改定も検討していく。

問 調理配送業務で旧センターと比較して変わった点は何か。

答 調理作業が区分けされたことにより、従来は調理員が6名であったが現在は8名になっている。配送先も中学校から小学校になったため、配送量が2倍になり時間も多くなった。



土砂浚渫が進んでいる善川



備えて安心、災害用品

総括質疑

決算審査意見への対応は

鈴木 和信

問 監査委員より、12項目の改善や要望が出され、議会の一般質問事項ともかぶるところが多々あり、村長の取り組み姿勢を伺う。

答 12項目について具体的に取り組みを述べると、①新たな財政計画策定は今年度中に作成検討する。②デマンド交通についても来年度から本格運行する。③学校給食センター問題では、今後は庁舎内で検討委員会を作り再発防止に努める。④老朽化した施設の大衡城は解体・万葉茶屋は利用を再検討する。その他指摘事項の解決に向けて努力していく。

教育委員報酬上げを

問 教育委員の特別報酬が27年間改正されず、他の委員に比べ著しく低く活動に支障があると思われる。条例を改正して早急に引上げるべきではないか。

答 活動内容からしても、27年間報酬が同額であったことは、ご指摘のとおりであり、早急に条例改正を行い、次年度から実施したい。

討論

賛成

小川 克也

努力と配慮を持って期待

学校給食センター整備事業に対しては丁寧な説明があった。今後、想定される公共施設の更新整備事業においては、再発防止策を実施し信頼回復に努めていくとのこと。職員の時間外勤務等についても、働き方改革に努め職員への過度な負担を軽減し、健康管理へ配慮をしていくとのことであった。質問に対する真摯な答弁と今後の努力と配慮を持って、さらなる改善に期待し賛成する。

反対

赤間 しづ江

給食センター整備にかかる問題

総額8億円を超える事業として進めてきた給食センター整備は、令和5年度に電気設備の容量不足、さらに完成間近になって給水設備の不備が発覚した。度重なる設計ミスで、本来令和5年の夏休み明けからの給食開始が1カ月半も遅れる事態になった。このようなことは過去に例がなく、執行者としての責任は重大である。この設計業務にかかる一連の問題が大きく新聞報道され、混乱を招き不安を生じさせたことも看過できない。村民への説明も、間を空けずにするべきであった。

採決

認定すべきと決定
一般会計
(賛成 9 反対 1)

特別会計
(全会一致)

給食センターの遅れは設計ミス

佐々木 金彌

給食センターの完成が遅れ、生徒や多くの人に迷惑をかけたことは不満に思っている。その原因は計算間違いした設計業者によるものである。図面等で専門の業者から意見を聞いたが、明らかに設計業者のミスであり、村の担当職員でも難しい。その他の事業についても正常な運営がなされており、決算認定に賛成する。

補正 予算

企業進出により村税が増額

◆一般会計補正の主なもの

◎歳入

村税	1億4,000万円
国庫補助金	1,255万円
基金繰入金	△1億6,961万円
繰越金	5,622万円

◎歳出

定額減税給付金	2,200万円
非課税世帯給付金	△1,005万円
農業環境整備支援補助金	487万円
消防設備整備工事費	1,600万円



法幢寺のカヤの木

答 カヤの木は樹齢700年を超える巨木であり、本年4月に村第1号の天然記念物として指定した。案内標識を設置し、今後適切に保存管理をしていきたい。

問 大森の法幢寺境内のカヤの木が村の天然記念物に指定されたが、今後の取り扱いには。

天然記念物指定

答 確定した調整給付金の対象者は1145名、給付金総額は5466万円である。非課税世帯へ給付金は93世帯、子供加算は18人と見込んでいる。8月末から該当者へ通知をしており、順次振込給付していく。

問 物価高騰対策としての定額減税と、住民税非課税世帯への給付金の詳細と今後の手続きは。

定額減税

答 ふるまい餅用のもち米60キロであり、約15000個になる。花火については、開催時間と場所の問題で実施できない。

問 祭り開催費の賄い材料の内容と花火の打ち上げは。



祭りを盛り上げる万葉おどり

ふるさと祭り

主 な 質 疑

財産貸付

花の杜ゴルフ場用地の減額貸付け

貸付面積	960,711㎡
貸付期間	令和6年10月1日～令和11年9月30日
貸付料	年額26,746,194円



広々としたコースの花の杜ゴルフ場

主な質疑

減額率

問 花の杜ゴルフ場の村有地貸付料の減額理由と、減額率の根拠は。

答 従来からの貸付けを10月から5年間延長する。貸付料は現在と同じ土地評価額の13%を減額するもので、年間400万円減額となる。

減額理由

問 花の杜ゴルフ場は、予約が取れないぐらい混んでいるが、それでも減額する理由はなぜか。

答 プレー料金を安くしたり経営努力をして回復傾向にあるが設備の老朽化により大幅な設備投資が必要であるため、減額の貸付けと判断した。

温浴施設開放

問 村民にゴルフ場温浴施設を再び開放できないのか。

答 土地の再契約にあわせて、再開する方向でゴルフ場と協議している。

任命同意

教育長の任命

大衡村教育委員会教育長を任命することについて、同意を求められ、無記名投票による採決の結果、同意した。

賛成 11 : 反対 0

任期	3年(令和6年10月1日～令和9年9月30日)
----	-------------------------



また ひろゆき
丸田 浩之 氏

令和6年9月定例会提出議案 18件

同意第4号	大衡村教育委員会教育長の任命	報告第10号	放棄した債権の報告
議案第46号	大衡村国民健康保険条例の一部改正	報告第11号	健全化判断比率並びに資金不足比率の状況
議案第47号	財産の減額貸付	認定第1号	令和5年度大衡村一般会計歳入歳出決算認定
議案第48号	令和6年度大衡村一般会計予算の補正	認定第2号	令和5年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定
議案第49号	令和6年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正	認定第3号	令和5年度大衡村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
議案第50号	令和6年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正	認定第4号	令和5年度大衡村介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定
議案第51号	令和6年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正	認定第5号	令和5年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算認定
議案第52号	令和6年度大衡村下水道事業会計予算の補正	認定第6号	令和5年度大衡村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
報告第9号	令和5年度大衡村水道事業会計予算繰越計算書	認定第7号	令和5年度大衡村水道事業会計決算認定

◇採決状況◇

○賛成 ×反対 議長（高橋浩之）は採決に加わらない。

議案	山本 信悟	早坂 美華	鈴木 和信	小川 克也	佐野 英俊	赤間しづ江	文屋 裕男	細川 運一	遠藤 昌一	佐々木 金彌	石川 敏	高橋 浩之	議決結果 (賛成:反対)
同意第4号	無記名投票											同意 (11:0)	
議案第46号～47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
議案第48号～52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
報告第9号～11号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告は採決しない
認定第1号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決 (10:1)
認定第2号～第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)

一般 質問



8名の議員が村政を問う

質問者一覧表

鈴木 和信

- ・JSMC株式会社への幹線道路の拡幅計画は
- ・おおひら館のリニューアルで食と情報の拠点施設に
- ・新型コロナ再流行に伴い、検査・治療費の公費支援は

佐野 英俊

- ・村と万葉まちづくりセンターとの関わりについて
- ・遊水地工事に伴い傷んだ道路の補修について
- ・海老沢地区の通学について

小川 克也

- ・部活動について

石川 敏

- ・地域おこし協力隊の導入計画を問う
- ・庁内機構再編の進捗状況は

細川 運一

- ・こども家庭センターへの取り組みについて
- ・課の再編について

早坂 美華

- ・駒場川の堰改修について問う
- ・大衡村HP・SNS等について問う

赤間 しづ江

- ・老朽化した公共施設の今後の方向性は

山本 信悟

- ・半導体企業立地に伴う上下水道の整備について

※会議録は大衡村議会ホームページで閲覧できます。

議会を 傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

次の定例会は

12月3日(火)

からの予定です

お問合せ先:大衡村議会事務局

☎345-6030

✉ gikai@village.ohira.miyagi.jp



かずのぶ 鈴木 議員

JSMC(株)への道路拡幅計画は 具体的な計画が示され次第対応

幹線道路の拡幅計画

問 村長はこれまで片側二車線化構想を掲げているが操業まで間に合うのか。

村長 現在でも渋滞しているが交通量調査は一日千六百台と片側二車線の必要交通量に達していない。

他の進入路の検討

問 県道大衡駒場線に接続計画の検討はしないのか。

村長 村道奥田工業団地からのバイパス的な道路と解しますが、現段階では新たな進入路の整備は考えていない。



繁盛するおおひら館

ときわ台周辺の交通規制

問 通勤者のときわ台周辺道路への進入禁止・スクーリングゾーンの設定の検討は。

村長 スクールゾーンの設定により、児童生徒の安全が図られると認識している。

衡下・奥田地区の安全確保

問 村道の速度規制をはかり地区民の安全確保を図るべきではないか。

村長 公安委員会や地区と協議して速度規制が必要であれば要望していく。

おおひら館を「道の駅」へ 道の駅についても考えたい

来客数と売り上げ

問 オープン以来のおおひら館の来客数と売り上げ実績は。

村長 開館初年度は四万五千人、七千二百万円、ピーク時は平成三十年の十一万九千人、一億千六百万円、昨年度は九万三千人、一億七千万円の実績である。

加工施設の併設

問 農産物加工施設は、許可制に変更されたことから農家では許可取得が難しいので、施設内に併設してはどうか。

村長 指定管理者の事業計画があれば、検討材料の一つと考えられ、出品者の需要が求められる。

再流行の新型コロナウイルスへの公費支援を 黒川地域で足並みをそろえて対応

個人負担

問 五類に移行して検査費、治療費、治療薬の自己負担額は。

村長 二割負担者で抗原検査費が約二千元、PCR検査で約三千元、治療薬で一萬五千元の自己負担額が発生する。

公費支援

問 高齢者については、インフルエンザワクチン同様公費負担はできないか。

村長 二割負担者で抗原検査費は他の感染症との整合性から難しいと考えられる。ワクチンについては、三千円程度の負担となる見込み。

万葉まちづくりセンターと 村の関わりは

適切な指導を行なっていく



佐野 英俊 議員

問 万葉まちづくりセンター設立の経緯と村の出資状況は。

村長 行政のスリム化と雇用創出を目的に、第3セクターとして、平成17年3月に設立。出資総額は一千万円で、村65%で筆頭株主となっており、他は農協・金融機関等が出資している。

問 会社経営への出資者の関わりは。

村長 国が定める経営健全化等に関する指針と村独自の指針に基づき、毎年財務状況を实地検査し、村HPで公表している。引き続き健全な経営が行われるよう適切な指導を行う。



創立20年目を迎えたまちづくりセンター事務所

海老沢地区の通学は 家庭の希望による

問 村及び海老沢地区の児童生徒と未就学児の実態は。

教育長 児童生徒は575名、未就学児は224名。この内海老沢地区は児童生徒16名、未就学児9名。海老沢地区から大衡小中学校に通学している生徒もいる。

問 児童生徒の減少対策として、海老沢地区から大衡小中学校へのスクールバス運行はできないか。

教育長 大衡村に在住の児童生徒は、原則大衡小中学校へ就学することになっている。「区域外就学に関する覚書」に基づき、希望する者は距離が近い大和町の小中学校へ就学することができる。
通学手段の確保や経済的な負担軽減策の必要性等、スクールバス運行は難しい。

遊水地工事で傷んだ 道路の補修は 引き続き要望していく

問 村道竹ノ内蒜袋線・奥田大森線、県道大衡駒場線の補修計画・情報はどうか。

県道大衡駒場線も補修要望をしているが、県の予算や人員不足等により、具体的な工事計画は示されていない。

村長 国土交通省北上川下流河川事務所と現地確認をし、補修要望をしている。



おがわ かつや 議員
小川 克也

どうなる中学校部活動は 子どもの意向を確認していく

加入状況

問 令和6年度より、中学校部活動は全生徒加入から任意加入になっているが、その状況は。

教育長 加入している生徒は133名で、加入していない生徒は30名となっている。

部活動費

問 任意加入によって、部活動後援会費はどうなっているのか。

教育長 加入していない生徒もいることから、会費は徴収していない。前年度の繰越金を活用して、今は部活動費に充てている。

問

これからも部活動費が、保護者負担にならないように出来ないのか。

教育長 部活動費を精査し、今後の検討課題としている。

外部人材

問 部活動の外部人材の活用状況は。

教育長 男女テニス部、男女バレー部及び剣道部において、主に休日以外部の方に指導をいただいている。

問 教員の部活動負担軽減のため、部活動指導員の活用の考えは。

教育長 部活動指導員は技術指導や大会の引率などを行う人材であり、会計年度任用職員として位置づけされている。来年度に向けて整理をしている。

部活動地域移行

問 地域移行とはこれまで教員が担ってきた部活動の指導を、地域団体などに休日に関り移行を推進する国の施策だが、導入に向けての取り組みは。

教育長 検討会を立ち上げ、各種団体と意見交換を行ってきた。なお、子供達や保護者を対象に、部活動の意向を確認するアンケート調査を実施する。

村長 アンケート調査を分析し前に進めていきたい。



地区で入賞し、県大会に出場する剣道部

地域おこし協力隊の導入目的は 特産品開発や情報発信を目指す



いしかわ さとし
石川 敏 議員

協力隊の目的

問 地域振興政策における本村の課題と、新たに地域おこし協力隊を募集する目的は。

村長 特産品開発やSNS等の情報発信が不足している。その課題解決のため地域おこし協力隊を採用したい。

活動業務

問 特産品のコーディネーターとしての具体的な活動内容や、隊員に期待する成果は。

村長 ふるさと納税返礼品として新商品の開発や、既存特産品の魅力向上の情報発信業務を全国に向けて

展開していきたい。

勤務条件・待遇

問 隊員の募集対象者として求める人材と、勤務条件、待遇は。

村長 3大都市圏や政令指定都市に在住する方を対象とし、広報活動やインターネットに精通する人材を採用したい。

任用期間は1年間で最大3年間まで延長とし、初任給は約18万円で、住宅費等の支給も考えている。

スケジュール

問 令和7年度からの導入に向け今後どのような手順で進めていくのか。

村長 9月以降に募集情報を周知し、さらに移住・交流推進機構を活用して隊員希望者を募集したい。採用試験を経て12月には協力隊員を決定し、4月任用を予定している。



村でも協力隊の募集を開始
(総務省HPより)

庁内機構再編の進捗は 7年度から実施

再編案

問 見直し検討している各課の業務内容や再編案は。

村長 母子保健と児童福祉分野を一体的に進める部署に統合、総合計画部門と財政部門は分離し、さらに上下水道部門を都市建設課から独立させたい。令和7年4月から実施したい。

職員体制・手当

問 再編後の各課職員人数、管理職など役職体制は。再編に伴い各種職員手当の見直しはあるのか。

村長 現在の各課職員数の大幅な増減はない。再編で課が増設されれば課長職等は増えることになる。手当は現行のままと考えているが、再編に伴い必要な役職かどうかを判断したい。



ほそかわ うんいち
細川 運一 議員

こども家庭センターへの取り組みは 令和7年度中に設置予定

問 子育てや家庭の問題を相談・支援する機能の一体化を目指して、こども家庭センターの設置が自治体の努力義務となった。これから、どの様に对应していくのか。

村長 子どもたちが、健康やかに成長するためには、関係機関が連携を図り、全ての家庭に支援が届けられる様に对应していく。

そのための組織を構築していくことも課題の一つと捉えているので、センターを令和7年度中に設置を予定している。

問 センターの職員体制はどうなるか。

村長 センター長の他に、母子保健と児童福祉分野を統括する支援員を一名配置することが義務となっている。

課の再編の検討は 思慮している

問 昨年11月の全員協議会で、9課を12課にする案が示されたが、議員の意見を受けて議会には提案を見送った。今まで、何回くらい話し合いが行われたのか。

村長 業務内容の確認を行ったが、再編については、議論までは及んでいない。現行の係での課再編がふさわしいか思慮している。

問 総務課が担当していた自治体DXと村史編纂さんを企画財政課に移したのはなぜか。

総務課長 将来的に、課の再編を考えてDXの推進については、情報発信を行なっている課にした。村史編纂さんは、情報収集ということで行った。

問 課を再編するための条例の提案時期と職員の育成についての考えは。

村長 12月定例議会に提案したいと考えている。

職員の声に耳を傾け、一人ひとりの様子を見て声掛けを行なっている。働きやすい職場を整えていくことが、職員の育成につながると思っている。



課再編に向けた課長会議

駒場川の板堰改修は 実施時期の調整が必要



はやさか みか 早坂 議員

改修計画

問 実施計画に記載されているが、一向に進んでいない。改修の進まない理由は。

村長 堰改修の必要性は理解しているが、他の機関との連携や緊急を要する事業などにより進んでいない。

改修方式

問 老朽化や破損により堰の開閉が困難な箇所があるが、自動転倒式などに改修できないか。

村長 自動式は工事費が高額になる事が見込まれるので、改修できるのか考えていく。

受益者負担

問 工事費の受益者負担をどのように地権者に説明していくのか。

村長 12・5%の受益者負担が発生する可能性はあるが、住民の方々と協議し財源の見込みも合わせて考えていく。

問 防災の観点からも堰の改修は急務と思うが、村としてどのように考えているか。

村長 水利組合等の適切な管理を徹底してほしいが、後継者不足や高齢化による農業用施設の維持管理は村全体の課題と認識している。

村HP・SNSの改善を 本気に考える

問 HPが見つづらく検索しにくいとの声が多いが、どう捉えているか。

村長 多くの声が届いている。作業権限の中で工夫し改善を図っている。

問 HP内にある魅力発信サイトはなぜトップページにもってこないのか。魅力を発揮できていないのでは。

問 YouTubeの更新がされていないが、今後どうしていくのか。

村長 外部の力を借りながら本気になって考えていく。

問 HP全体を一から改善する必要があるのではな
いか。

村長 多言語対応なども視野に入れていかなければならないので、今後協議したうえで慎重に考えていく。



改修が必要な駒場川板堰



あかま 赤間 しづえ 議員

老朽化した施設の今後は 方向性を検討している



閉鎖している大衡城民俗資料展示室

経年劣化等により、休業や業務を停止している施設が出ています。次の3施設の現状はどうなっているのか。

大衡城

問 民俗資料展示室が併設されている大衡城の今後についての考えは。

教育長

大衡城青少年交流館は昭和45年建築、平成17年度に大規模改修工事を行い、民俗資料展示室を併設し、農具や遺跡出土品を展示している。

雨漏り、外壁の剥離、シロアリ被害もある。令和5年8月から利用を中止しているが、光熱水費、清掃委託料など246万円の経費がかかっている。

老朽劣化が進んでおり、解体処分する方向で検討中である。

民俗資料の移転候補先として多目的施設内遊戯室を考えている。

旧給食センター

問 役目を終えた旧施設の今後をどうする考えか。

教育長

昭和53年建築で45年経過している。現在、一部を小学校給食の配送スペースとして使用しているため、引き続き適切な管理に努めていく。

厨房機器類は来年度に撤去処分する予定であり、施設全体をどうするかは今後検討していく。

万葉茶屋

問 万葉の森散策のお休み処として茶屋の存在は大きいのではないか。

村長

万葉茶屋は平成30年建築で、33年が経過している。雨漏りやシロアリ被害があり、令和5年12月から休業している。

万葉の森周辺の休憩所として、来訪者のため利活用する方向で検討している。



利活用が望まれる万葉茶屋

半導体企業立地に伴う 上下水道の整備は

計画水量が示され次第検討



やまもと しんご
山本 信悟 議員

上下水道管の整備

問 工場建築工事は未着手の状態であるが、操業に向け立地企業が必要とする水量に見合う上下水道管の整備を先行して進める必要があるのでは。

村長 半導体製造には大量の水が使用されるもので、工業団地には工業用水、上下水道が整備済みで水量が大きく上回っている。村管理の上下水道や県管理の工業用水及び流域下水道など企業側と打ち合わせを重ね、追加整備を検討している。
現時点では企業側から水量の数値が示され次第柔軟に検討いく。

問 半導体製造するに当たっては、大量の工業用水が必要だが、間に合うのか。

村長 第二北部工業団地の配水量一日最大5万8500m³に対し、現在の使用量は1万2000m³であり、余剰分が79.5%あるので水量には問題ない。

水の安定供給確保

問 漆沢ダムからの供給で、近年は地球変動で夏は猛暑、冬は雪が降らない状況で雪が少ないと水不足が心配されるが、天候に応じた水の確保は。

都市建設課長 県でも十分供給できると判断している。自然現象、天候、日照り等が続いた場合については全く心配ないとは言えない。

問 漆沢ダムの上水道と工業用水の割合は。

村長 上水道が8割で、工業用水が2割になる。

地域住民への配慮

問 これから想定される工事について、地域住民に配慮した事業計画はどのように進めているのか。

村長 半導体工場建設と各種関連インフラ整備が重なることで周辺道路の渋滞や生活道路への進入など懸

念しており、地域住民の安全安心に配慮した取り組みを考えている。
施工業者には地域住民へ配慮した工事計画を作成してもらい、住民説明会を開催したい。



大切な生命の源(漆沢ダム)

住みよい大衡村にしていきたい!

中学生と議会との意見交換会

●日 時…令和6年9月20日 ●参加者…大衡中学校生徒会長 和野翔さん 副会長 堀籠紫遠さん・高橋慎太さん
議会 高橋浩之議長 山本信悟議員・早坂美華議員

街路灯

中学生

通学路など暗い道路に街路灯を増やして欲しい。

議員

改善が必要な具体的な場所を役場や議員に話して下さい。

商業施設

中学生

村内にスーパーなどの商業施設があると良いが。

議員

商業施設をつくるといっても、法律や規制があり、簡単には出来ないが、実現するよう村も議会も努力していきたい。



交流イベント

中学生

いろいろな人と交流を深めることが大事です。万葉まつりがなくなったので、交流を増やすイベントを増やして欲しい。

議員

最近は交流できる機会が少ない。地域でも多くの人が集まれる場所があれば良い。

大きな祭りだけでなく、小さい祭りやスポーツなどのイベントも考えていきたい。

ゴミ問題

中学生

ゴミがない、きれいな村にしたい。生徒会でクリーンクリーン大作戦をしている。

議員

ゴミは他の町でも問題となっている。ポイ捨て禁止の呼びかけもしている。地区の清掃活動に地域の人と参加して、コミュニケーションをとれば良いと思う。

参加した中学生の感想

- ・初めはとても緊張していたが、意見が出しやすかった。
 - ・やって欲しい事はあるが、難しいこともあるのが分かった。
 - ・どこに誰に聞いて良いのかが分かった。
- 良い大衡村にしていきたい。



Rレポート Report

総務民生

調査年月日:令和6年7月25日・8月8日

子ども子育て支援

あそぼーよ

ASobo-yo(ききょう平保育園)

子育て支援の一環で村内在住の未就学児童が遊べる場や保護者同士の交流を深める場。

概要

開催日	月1回
開催時間	9:30~11:30
活動内容	体操教室等
対象者	未就学児・保護者

◆調査結果意見

ききょう平保育園の自主事業であり、育児家庭支援の一助となると思われる。参加者が少ないので、事業内容や開催日の情報発信を高められたい。



親子で一緒に体操教室

高齢者福祉

シルバー人材センター



花壇の除草作業

登録会員数

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (6月末現在)
男性	46人	58人	57人
女性	34人	44人	46人
合計	80人	102人	103人

◆調査結果意見

村内全世帯や事業所を対象にPR活動を積極的に行い、会員増と就業機会の確保に努めている。会員自らのいきがづくりとして、さらに業務を展開していただきたい。

新地域交通システム

デマンド型交通

実績

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (6月末現在)
稼働日数	226日	245日	62日
利用人数	1,674人	5,564人	1,753人
経費	573万円	1,230万円	—

◆調査結果意見

便数増・台数増・地区毎曜日指定なしにより、利用件数が大幅に伸びている。事務所は、大衡城青少年交流館から役場敷地内に変更になっている。本格運行に向けて、事業内容を精査し進められたい。



安全に運行するスタッフの皆さん

産業教育

委員会

調査年月日:令和6年7月29日・31日

大衡塾

学習面における不得意分野の克服や得意分野の更なる伸長を図るとともに、家庭での学習の習慣化を図れるようにする。

開催日程及び開催場所

小学生：7月22日～7月29日（6日間）
平林会館

中学生：8月16日～8月23日（6日間）
大衡中学校



頑張って勉強する小学生

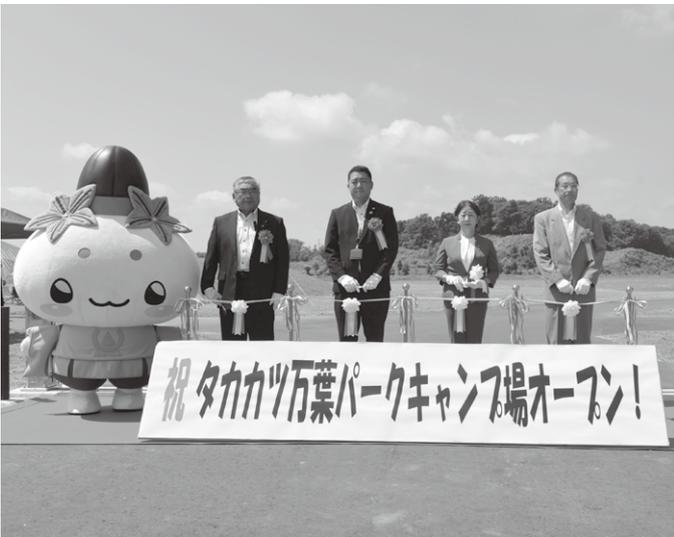
参加希望児童生徒（R6.7.22時点）

学年	在籍数	参加希望者数	申込率
小学5年生	60人	22人	36.7%
小学6年生	71人	39人	54.9%
中学1年生	49人	29人	58.0%
中学2年生	60人	34人	55.7%
中学3年生	54人	26人	47.3%
合計	294人	150人	50.5%

◆調査結果意見

子供たちが確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組む力を付ける目的とし、今後学力向上と行政・学校・家庭との連携を図り更なる児童生徒の教育に努められたい。

タカカツ万葉パークキャンプ場



関係者によるオープニングセレモニー

キャンプ場整備の経過

- ① 関東・東北豪雨により、大和町中心市街地で浸水被害が発生し、県では災害防止を図るべく河川改修整備を行う。
- ② 令和元年6月 河川掘削土砂の受入れ開始。
- ③ 令和5年5月 跡地の活用をフリーサイトキャンプ場整備に決定。
- ④ 令和6年3月 万葉まちづくりセンターに指定管理追加。
- ⑤ 令和6年8月 キャンプ場オープニングセレモニー。

◆調査結果意見

各関係機関と連携を図り特色のあるキャンプ場の運営に努められたい。



大衡小学校 6年
おおこうちのあ
大河内 希歩さん

幼稚園教諭に なることが夢

わたしは、幼稚園の頃から幼稚園教諭になることが夢です。その頃の担任の先生にある日、

「のあちゃん、小さい子のめんどうをよく見てくれるから幼稚園の先生になつたら？」と言われ、とてもうれしかったからです。その日から幼稚園の先生をゴールに決め、今まで不器用なわたしなりに突き進んできました。お母さんやお父さんも応援してくれています。困っている子を見逃さない先生になりたいです。



大衡中学校 2年
おおのこむぎ
大野 心麦さん

大好きな読書を 仕事にしたい

私の将来の夢は、図書館司書になることです。その理由は、たくさん本を知って、大勢の

人に紹介したいからです。きっかけは、女優の芦田愛菜さんです。彼女は年間三百冊も本を読むそうです。それでもまだ読んだことのない本があるので、これからも読み続けたいと言っていました。その話を聞いて、私もたくさん本を読み、大好きな読書を仕事にしたいと思えました。実現できるような頑張ります。

わたしの夢

みんなの知恵を

衡上

ほそかわ ひろゆき
細川 浩幸さん

私は、60歳を機に定年退職し村に戻りました。ゆっくりと暮らしながら、ふるさとの過去、現在、未来について思いを巡らせます。

子供の頃は、専業農家が多く、子供の声や近所の人達の声が溢れていました。今は少子化で学校のクラスも、周辺の家に住む人の数も少なくなって寂しく感じます。中学生の時に埋めたタイム

カプセルの中の夢とはほど遠い現実です。私自身も、農地を近くの担い手に委託していますが、村の農地が担い手不足で荒廃していかないと心配です。

近年の企業誘致が、私達の心と環境の豊かさにつながる「まちづくりを進めてほしい」と思っています。私達の村の将来を考えていきましょう。

みんなの声



村の将来を考えて

表紙写真

子どもと大人の1対1の対話をコンセプトに開催され、大衡中学校3年生と地域の方々が生き方などについて、世代を超えて語り合いました。

あとがき

中学生の声を聞きたいとの思いで実現した意見交換会を、初めて開催しました。紙面にも注目していただければ幸いです。若者世代にとっても身近な存在の議会でありたいと改めて感じました。

赤間 しづ江

- 編集
広報広聴常任委員会
委員長 赤間しづ江
広報分科会
会長 石川 敏
副会長 小川 克也
委員 鈴木 和信
委員 早坂 美華
委員 山本 信悟
発行責任者
議長 高橋 浩之



再生紙を使用しています